

トケンラン

Cremastra unguiculata (Finet) Finet
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内で確認された生育地は1箇所のみであったが、現在は生育が見当たらない。

分 布

国内分布は、北海道～九州。県内分布は、若狭町に生育していたが、現在この生育地は消失したと考えられる。

種の特徴

細長い地下茎があり、それに偽球茎がつながる。葉は長楕円形で鋭頭、長さ10～12cm、幅3～5cm。花茎は30～40cm、茎の先に数花～10数花をつける。花は全体に淡黄褐色。唇弁は白色で各弁に紫斑がある。

生育を脅かす要因

産地極限。

参考文献 福井県植物研究会（1998）、大橋広好ほか（2015）、前川文夫（1971）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○																

マヤラン

Cymbidium macrorhizon Lindl.
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内では1箇所にしか確認されていない。

分 布

国内分布は、本州関東以西～琉球。県内分布は、高浜町。

種の特徴

常緑広葉樹林や古い二次林の林内に生える無葉の腐生ラン。花茎以外には地上茎を伸ばさないため、発見の難しい種でもある。花茎は数個の白花をつけ、各弁は多少淡紅紫色を帯び、花の基部にある苞葉はきわめて短い。果実は倒卵状紡錘形。和名は関西の麻耶山に因む。

生育を脅かす要因

極めて稀にしか確認されていない種で自然環境の破壊、植生の遷移等。

参考文献 前川文夫（1971）、大橋広好ほか（2015）、遊川知久ほか（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○														

クマガイソウ

Cypripedium japonicum Thunb.
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生育地は限られ、個体数が減少

分 布

国内では北海道～九州に分布。県内では嶺南の一部、嶺北の一部に分布。

種の特徴

里地・里山の林内や草地に生える多年草。草の高さ20～40cm。葉は2枚で茎頂に対になった扇形で縦にしわが入る。葉の長さ10～15cm。幅12～20cm。葉の間から花軸が伸び、径10cm程度の花をつける。側花弁は卵状披針形、斑点がある。唇弁は袋状、紅紫色の筋がある。

生育を脅かす要因

森林伐採や道路工事等により生育地が減少。園芸目的の採取等。

参考文献 遊川知久ほか（2015）、林弥栄・平野隆久（2013）、福井県植物研究会（2001）、前川文夫（1971）、大橋広好ほか（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○		○							○					